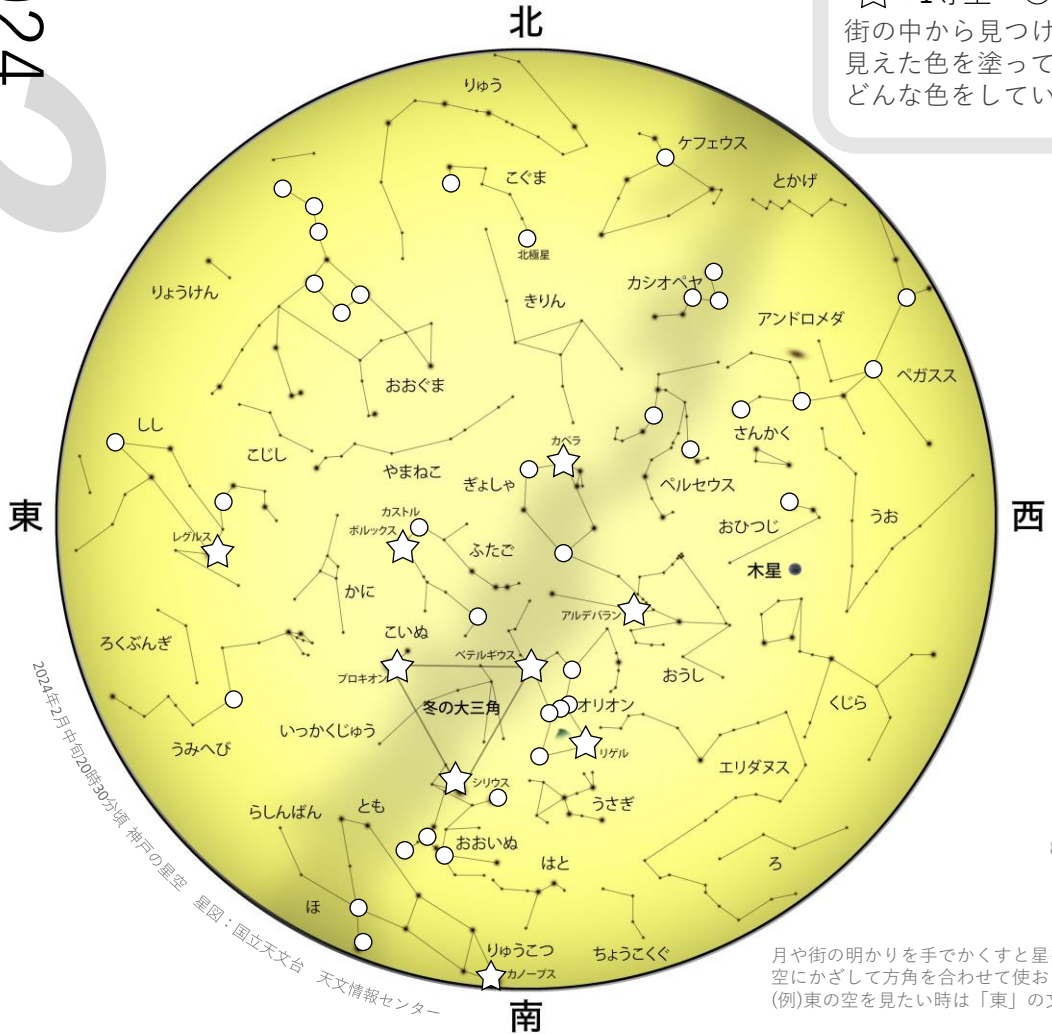


☆: 1等星 ○: 2等星は街の中から見つけられるよ。見た色を塗ってみよう。どんな色をしているかな？



2024年2月中旬20時30分頃 神戸の星空 星図: 国立天文台 天文情報センター

月や街の明かりを手でかくすと星を見つけやすい！空にかざして方角を合わせて使おう！(例)東の空を見た時は「東」の文字を下に向ける



- 1 ○
- 2 ○
- 3 かげん つき 下弦の月 ○
- 4 ○
- 5 ○
- 6 ○
- 7 ○
- 8 ○
- 9 ○
- 10 しんげつ 新月 ○
- 11 ○
- 12 ○
- 13 ○
- 14 ○
- 15 ○

スタッフのイチオシ星

最近、空を見上げましたか？

まだまだ寒さが続きますね。私もつつい急ぎ足で屋内へと向かってしまう日々です。

でも、実はそんな冬こそ空を見上げていただきたいのです！

「冬は空気が澄んでいる」と言われることがあります。

それは、他の季節に比べて空気中の水蒸気やチリが少なく、空気の透明度が高くなるからなんです。

私のおすすめは、夕焼け空。「冬夕焼」「冬茜」などの言葉でも表現され、橙色や黄色が空をあざやかに彩ります。

さらに時間が進むと、南の空には冬の星たちも出てきます。お出かけの合間や、帰り道に…いつもより少しだけ視線を上げて過ごしてみると、いつもと違った景色に出合えるかもしれませんよ。



サイエンススタッフ かしはら



今夜の月をスケッチしよう！（月の満ち欠けの様子）

- 16
- じょうげん つき 上弦の月 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23 科学館の観望会 星空ウォッチング
- まんげつ 満月 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29